

南中だより

学校通信 第10号
令和6年3月7日

校訓：「自己を高めよう」

本校のめざす生徒像

「将来を見据え、今の自分を作り上げていく生徒」

1. 真剣に学び合う生徒
2. けじめのある行動をする生徒
3. 自ら心と体を鍛える生徒

祝 卒業 186名が南中学校を巣立つ



卒業生全員で歌い上げた「正解」 最後を飾るにふさわしい感動的な合唱でした

3月6日、南中学校体育館において第46回卒業式を挙行了しました。保護者が見守る中、1組から順に体育館に入場して式が始まりました。担任が卒業生の名前を一人ずつ呼び上げ、卒業証書が各学級の代表に授与されました。緊張しつつも返事をして起立する卒業生の表情や姿からは、晴れがましい気持ちが伝わってくるようでした。

卒業生に向けて、式辞において世界的指揮者である小澤征爾さんの若き日のエピソードを紹介し、「挑戦すること」の大切さを伝えました。卒業生のみなさんには、進学先、就職先、それぞれの選んだ道で夢中になれる何かを見つけ、高みを目指して挑戦を続けてくれることを願っています。

南中学校の職員、在校生一同、186名の卒業生のみなさんの卒業を心からお祝いするとともに、これからの人生が輝かしいものとなることをお祈りしています。



在校生からの歌の贈り物



同窓会 入会の言葉

卒業式を控えた3月1日、「3年生を送る会」が開かれました。各部活動からの先輩へのお祝いメッセージ、3年間の思い出ビデオの上映などがありました。全校が一堂に会して、最後の行事を思いで深いものにすることができました。

卒業式の前日、南中学校同窓会副会長の神谷環光氏（写真左）をお迎えし、同窓会入会式を行いました。神谷氏からは同窓会の役割や意義をお話しいただくとともに、激励の言葉を贈っていただきました。